

ひとと空間を科学する

topic  
1

## 篠原研究室の学生が第14回長谷工住まいのデザイン コンペティションを受賞しました。

name

篠原研究室 修士2年

古屋敷 璃里 さん 白馬 千聡 さん

title

### Farmily

Comment

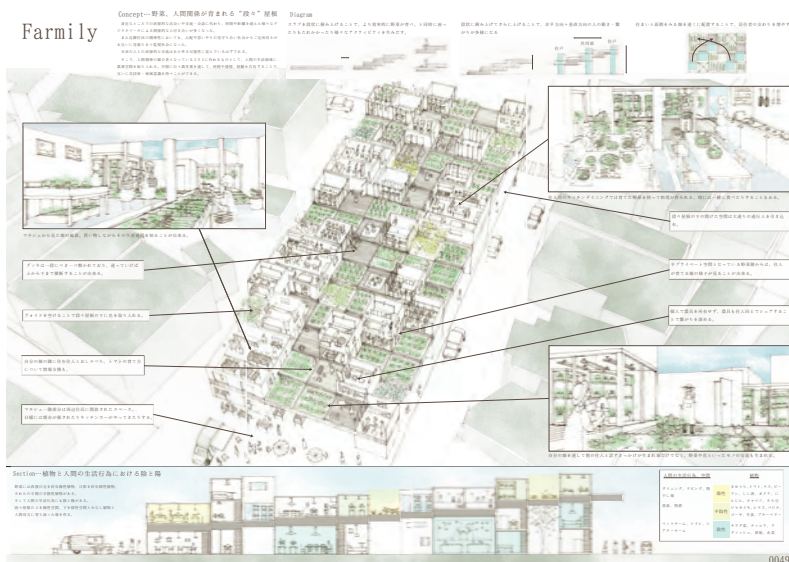
デジタルツールの急速な発展により直接的な出会いや交流が減り、時間や距離を超えた間接的な交流が増えた。また、身近な近隣住民の関係性においても、心配や思いやりによる見守り合う社会から、ご近所同士が互いに見張り合う監視社会になった。

本来、人と人との直接的な交流はあらゆる可能性に富んでいるはずである。そこで時間や感情、経験を共有する「農業」というものを住空間を取り入れることで、農作物と人間関係が育まれる集合住宅を提案する。



第14回長谷工住まいのデザインコンペティション

佳作



## 公益財団法人隈研吾建築奨学財団の2021年度奨学生に 修士課程1年次の江崎有咲さんが選出されました

topic  
2



引用：日本女子大学 HP [https://www.jwu.ac.jp/univ/topics/20211014\\_interview\\_ezaki.html](https://www.jwu.ac.jp/univ/topics/20211014_interview_ezaki.html)

2021年2月、建築家の隈研吾氏が、建築学を専攻する国内の大学院生を対象に、返済義務のない奨学金を支給する公益財団法人隈研吾建築奨学財団を設立されました。

その2021年度奨学生に修士課程1年次の江崎有咲さんが見事選出されました。



結果報告会でのプレゼンの様子

本学科の卒業生で非常講師の瀬川 翠先生の作品「Enlee」が商店建築 9月号の表紙になりました。



## 瀬川 翠 先生

3年後期  
「インテリアデザイン演習」担当

誌面では8ページに渡り特集されていますので是非手に取って読んでみてください

### Profile

平成元年東京都生まれ。大学生でシェアコミュニティ「アンモナイト」を結成、自ら一軒家を改修しシェアハウスの運営を開始。2018年より親子も一緒に暮らせる2棟目のシェアハウスも立ち上げる。現在は活動をまちに拡げ、吉祥寺～西荻窪エリアで多拠点近接ネットワーク型のまちなかシェアリングエコノミーを運営。日本女子大学住居学科卒業、横浜国立大学大学院 Y-GSA 修了、同学博士課程単位取得退学。木造密集市街地、次世代都市居住を研究。2014年に Studio Tokyo West 設立。「銭湯再生計画」「草加駅前広場計画」をはじめ、多くのエリアマネジメントや事業計画に携わりながら新たな建築家の職能を探求。2015年～リノベーションスクールユニットマスター。2018-2020年、獨協大学経済学部非常勤講師。2021年 - 日本女子大学住居学科非常勤講師。引用：<https://www.studiotokyowest.com/about>

引用：[https://www.shotenkenchiku.com/products/detail.php?product\\_id=394](https://www.shotenkenchiku.com/products/detail.php?product_id=394)  
広島県福山市 中央公園



## 住研スタッフより



松村 聡美 助手

2021年11月より  
住研スタッフに加わります。

本学にて学部・修士を通して学び、建築の空間に対する興味から環境設備系の研究室に入りました。快適性や環境負荷削減を建築形態やデザインで解決するための、設計手法や評価法、設計マネジメントを研究しています。

特に、建築形態や運用に関わる自然通風に着目し、建物条件や通風手法、自然換気条件と合わせて室内環境を試算できる評価法の作成や、ツールの整備を行ってきました。また、複雑化・高度化する設計プロセスの中を整備し、理想的な通風計画フローの作成などを行いました。

修了後は椎名英三・祐子建築設計に勤務し、住宅や別荘の設計を手掛けました。崇高な空間を目指す建築思想を学び、妥協のない設計の現場にて経験を積みました。建物や家具の設計から機器の選定、照明や植栽の計画まで、それぞれの住まい方や要求に応じながら、より良い住まいを提供するする学びの多い職場でした。本年度は研究室や設計授業での補佐を行っており、11月より助手として着任しました。学生の皆さんの有意義な学び・研究がより良いものとなるようサポートしたいと思っています。